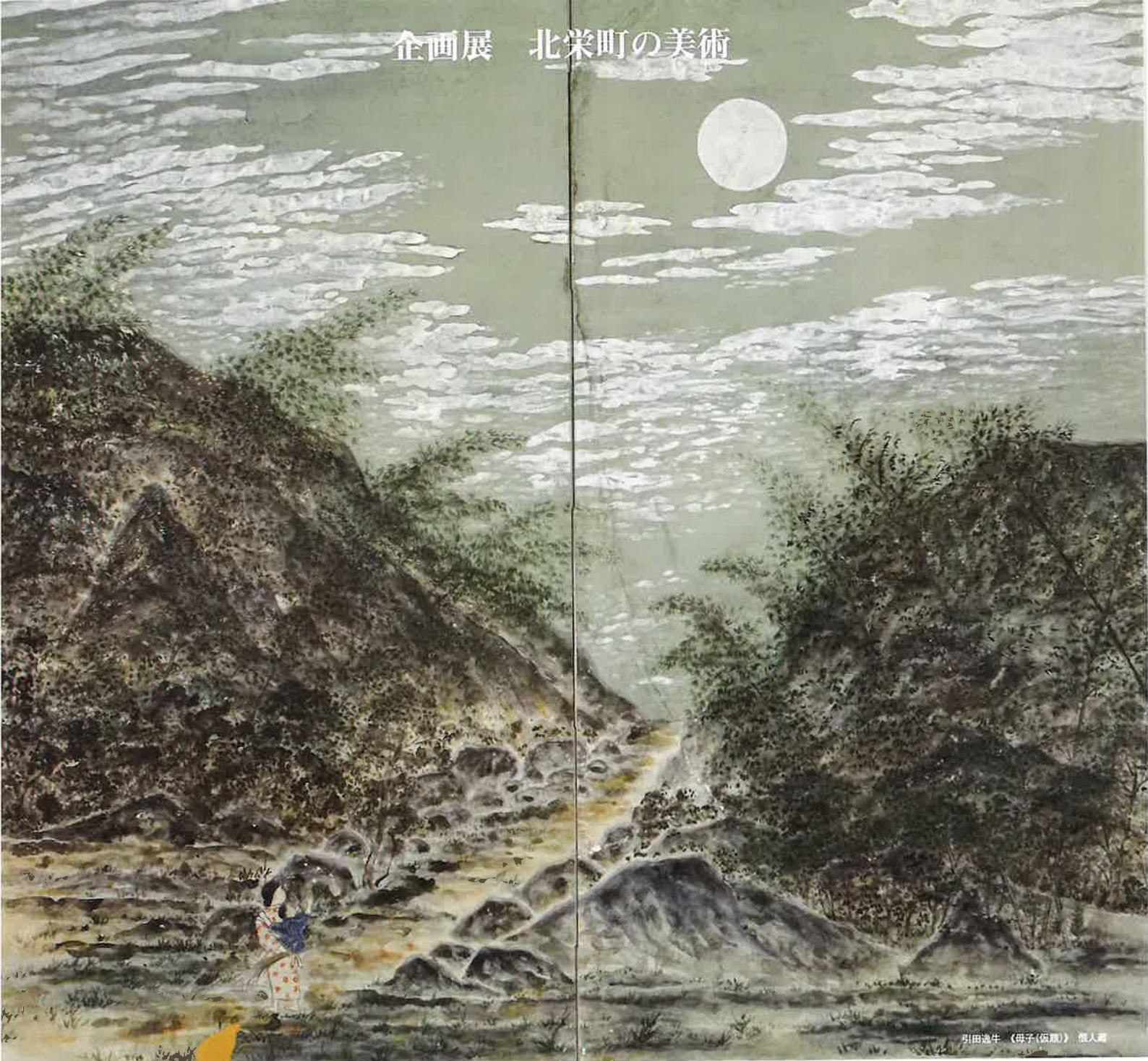


企画展 北栄町の美術



引田逸牛 (母子(阿彌)) 個人蔵

日本画家 — Hikida Itsugyu —

# 引田 逸牛

2024年4月27日(土) → 6月2日(日)

主催:北栄町教育委員会 協力:紅梅山松岸寺 他  
開館時間:午前9時~午後5時(最終入館は午後4時45分)  
休館日:4/30、5/7、5/13、5/20、5/27

入館無料

北栄みらい伝承館  
(北栄町北条歴史民俗資料館)

〒689-2103 鳥取県東伯郡北栄町田井47-1  
お問合せ TEL.0858-36-4309  
HP <https://www.e-hokuei.net/2202.htm>  
E-mail [h-rekishu@e-hokuei.net](mailto:h-rekishu@e-hokuei.net)

とっとり県民カレッジ連携講座

逸牛



## 企画展 — 北栄町の美術 —

日本画家 — Hikida Itsugyu —

# 引田 逸牛



鳥取県東伯郡中北條村(現北栄町)江北に生まれた引田逸牛(ひきだ・いつぎゅう 本名・貞 1901(明治34)年~1996(平成8)年)は、1920(大正9)年、倉吉中学(現倉吉東高等学校)卒業後、旧国鉄鉄道管理局に入社し、関西に出ます。

1923(大正12)年、友人より絵を描くことを勧められ、仕事の傍ら水越松南について日本画を描くようになり、兵庫県美術協会展覧会等に入選を重ねます。大阪に転勤後は、矢野鉄山に師事し、大阪市美術展覧会等に出品します。

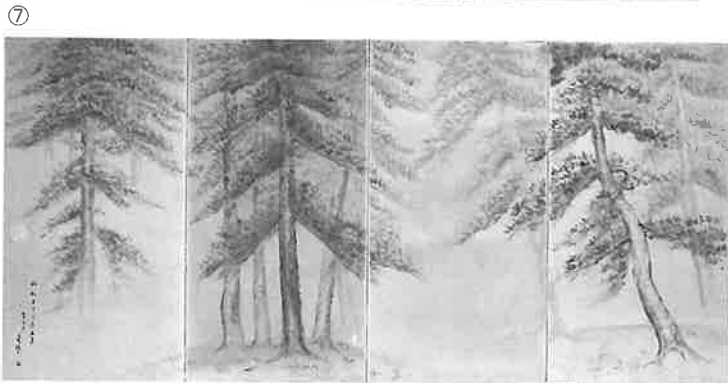
戦禍が厳しくなった1944(昭和19)年には関西から地元に戻り、鳥取県美術展覧会や倉吉市美術展覧会の創設時から審査員として晩年まで出品を重ねるとともに、鳥取県の日本画の振興に尽くします。また、再び関西画壇に復帰し、大阪美術協会展等に出品します。1960(昭和35)年、日本南画院展が結成されると、第3回展から晩年まで出品を重ねます。柳沢翠月に師事し水墨画の研鑽に励み、日本南画院展で努力賞、特賞、梅花賞、会長賞、南画院賞、文化賞を次々と受賞し、日本南画院理事も務めます。

逸牛は俳人としても活躍し足跡を残しています。1929(昭和4)年から岡村浩村に俳句を学び、1933(昭和8)年には高濱虚子が主宰するホトギスに入選し、後に同人となります。地域の俳句の発展に尽くすとともに、終生、俳句を詠み続けた俳人でもありました。

逸牛



①《立雛》 ②《不動明王》 ③《大山》 ④《群雀》 ⑤《大山北壁之圖》 ⑥色紙《大山》 ⑦《松林図》  
②⑦:紅梅山松岸寺蔵 ①③④⑤⑥:個人蔵



## 北栄みらい伝承館

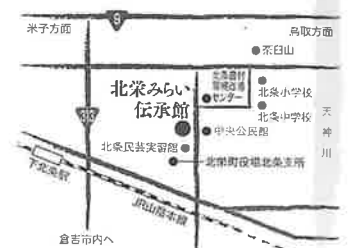
(北栄町北条歴史民俗資料館)

〒689-2103 鳥取県東伯郡北栄町田井47-1

お問合せ Tel.0858-36-4309

HP <https://www.e-hokuei.net/2202.htm>

E-mail [h-rekishi@e-hokuei.net](mailto:h-rekishi@e-hokuei.net)



【次回展覧会予告】

—北栄町の人物伝— 「砂丘開拓の父 梶田新蔵」 6月22日(土)~7月28日(日)